

# 地域おこし協力隊

## これまでとこれから

### これまで地域おこし協力隊で活躍された



▲仕込んだ「どぶろく」を一つひとつ手作業で丁寧に瓶詰めします



(株)ORARA 太田 泰さん

東京の文房具卸売会社を早期退職し平成31年1月に川崎市からご夫婦で移住。土湯温泉町で新たに「どぶろく」の醸造・販売を目指す地域おこし協力隊として着任。令和4年1月で任期満了により卒業となった後も定住し、どぶろく造りと向きあう日々を送る。

地域おこし協力隊の募集で新たな「どぶろく」の醸造と販売を目指すという取り組みが目にとまり、面白いことをやっているな、これであれば地域の中でお手伝いという感覚ではなく、当事者として頑張れると思ったことが応募のきっかけでした。

両親が大玉村に住んでいるので、帰省の際にスカイラインをドライブしたり、四季の里に遊びに行ったりと、福島市についてはある程度知識を持ち合わせていました。

着任後は醸造所の建設や補助金申請、酒造免許の取得など手探り状態の中でさまざまな業務に追われる日々でした。無事にお客さんに美味しい「どぶろく」をお届けできるのかドキドキしながらも、子どもの頃のようにゆっくりと過ぎていく月日だったことを今でも覚えています。

そうした販売に至るまでの事前作業を終えて「どぶろく」の醸造を始めてからも、教科書通りに仕込みをするところもありつつ、優しい口付けやシュワとした清涼感など、自分の中でイメージしたものを造り上げるために試行錯誤を繰り返しています。令和2年12月によく第1号が完成し、3年の任期の間に「どぶろく」の醸造と販売とい

う目的を達成することができて胸を撫で下ろしました。

今は温泉を楽しみに来られたお客さんに「どぶろく」を楽しんでいただいています。今後は「どぶろく」を目当てに土湯温泉町に来ていただけるよう、これからも引き続きこの地域で旨いどぶろく造りにチャレンジしていきたいです。



◀「おららのどぶろく(300ml)」  
辛口・甘口

販売スペース▶  
「おららの酒BAR・醸蔵」  
ところ/土湯温泉町字下ノ町21



### これから地域おこし協力隊で活躍される



地域おこし協力隊 宮司 君香さん

東京の不動産会社を退職し令和4年4月に移住。飯坂町でカヤックツアーやカフェの企画運営を担う地域おこし協力隊として着任。経験が無い仕事ながらも持ち前のチャレンジ精神で果敢に挑んでいる。

幼いころから父に連れられて家族で山や川に出掛けていました。その影響で、自然の中で身体を動かして遊ぶことが大好きになりました。就職してからも、忙しい中でも休日には近くの山に出掛けて何も考えずに時間を過ごすことでリフレッシュしていました。

そんな経験から、自然を感じる場所に住みたいという思いをずっと抱いていました。実際に移住先を調べている中で、福島市の地域おこし協力隊の募集が目にとまりました。主な活動内容であるカヤックツアーとカフェの企画運営は、以前から興味があった分野なので、すぐに福島市への視察を実行。その時に出会った方々の人柄や飯坂町の愛宕山神社から眺める景色に一目惚れ。家族からの後押しもあって地域おこし協力隊へ応募しました。

その後、縁もあり地域おこし協力隊として着任することが決まりました。勢いで決めてしまったところもあり、移住前はとても緊張しましたが、周りの方のサポートなどもあり、今では福島市での暮らしを楽しんでいます。

現在、カフェではホール・キッチン業務を、カヤックツアーではガイドのサポートを担当しています。新メニューの考案やアクティビティの企画など新しいことにどんどん

挑戦し、周りの方もそれを後押ししてくれるので、自分のやりたいことを形にできて毎日が充実しています。

任期中、まずは福島市初心者として謙虚な心で色々なことを勉強していきたいと思っています。地元の方たちと一緒に頑張って、飯坂町を楽しく盛り上げていきたいです。そして、たくさんの人に私のことを知ってもらいたいです。すれ違う人に気軽に「宮司さん！」なんて声をかけてもらえたら嬉しいです。

将来は、飯坂町で居酒屋をやりたいと思っています。私自身、移住する時に情報がなくて苦勞した経験があるので、私のような移住者と地元の方を繋げられるような空間にしたいです。福島の美味しいお酒で自然と打ち解けられるかなど。



◀カヤックツアーは予約制  
摺上川ダムのダム湖(茂庭湖)で11月まで楽しめます

カヤックツアーの予約▶  
カフェ「オンカフェ oncafe」  
ところ/飯坂町字湯沢26



地域の皆さんと協力し、地域活性化に取り組みます。  
今後も地域おこし協力隊へのご支援をよろしくお願いいたします。